



日精看発 第317号
平成26年10月28日

自由民主党

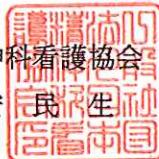
組織運動本部 厚生関係団体委員長

とかしき なおみ 様

政務調査会 厚生労働部会長

高島 修一 様

一般社団法人日本精神科看護協会
会長 安田昌生



平成27年度予算・税制に関する要望書

精神疾患の患者数は、うつ病などの気分障害やアルツハイマー病などを中心に増加傾向にあり、平成25年度には医療計画に記載すべき疾患に精神疾患を追加し、求められる医療機能の明確化等が図られているところです。

また、精神保健医療施策の方向性が、入院医療中心から地域生活中心へと転換を図る中において、精神疾患があっても安心して生活できる社会を構築するためには、地域生活を支えるための医療・看護の充実が欠かせません。

そこで、平成27年度の予算編成にあたり以下の通り要望いたしますので、ご尽力を賜りますよう、何とぞよろしくお願い申し上げます。

〈予算関連〉

1. 精神科訪問看護に従事する看護師等の養成及び人材確保に関する予算確保

精神障害者の地域生活を支えるためには、専門的な知識・技術を備えた看護師等による訪問看護サービスが必要です。しかしながら、全国的にみると精神障害者を対象に訪問看護を行う看護師等や訪問看護ステーションは不足しています。

については、精神科訪問看護に従事する看護師等の育成と人材確保に関する予算確保をお願いします。

2. 地域精神医療及び精神科病院からの地域移行に関する卒後教育の予算確保

地域精神医療の充実と精神科病院からの地域移行（長期入院精神障害者の退院促進）を進めるためには、全国の精神科病院に勤務する看護師等に、卒後教育としてその理解を深めることが喫緊の課題です。

については、都道府県単位で教育研修が実施できる体制整備をお願いします。